

ユニオンファンド 月次レポート

第 146 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2021年1月7日作成

MONTHLY TOPIC

コロナで明け暮れた昨年と、これから先のポイント

新しい年を迎えましたが、新型コロナウイルス感染症が収まる兆しはなく、むしろ拡大している国も多数見受けられます。こうしたなかで、世界の株価は全体として上昇してきました。その理由として、特に最近ではワクチンへの期待がしばしば挙げられていますが、考えてみればおかしな話です。ワクチンが効いて明日にも新型コロナウイルスが世の中から完全に消えたとしても、それは1年前に戻ったというだけのことです。株価が上がる理由としてはわかりますが、昨年の株価を上回り、さらに高値を更新する理由としては不十分と言えるでしょう。

期待によって上がった株価

では何が株価を押し上げたのか。これを考えることは、今後の株価を考えることにもつながります。まず、感染拡大の防止を目的に都市封鎖をはじめ経済社会活動が大きく制限されたことはご承知のとおりですが、それと並行して、景気の悪化を押しとどめるために大規模な金融緩和と財政支出拡大が世界各国で実施されました。コロナは大変だが先は明るい、との期待が株価を押し上げてきたと解釈できます。景気の実体が悪い中での株価上昇は、普通の感覚とかけ離れたものだったかもしれませんが、理屈は一応通っています。こうした対応策がとられ続ける限り、株価の上昇も続く可能性がありそうです。

ただ、景気が堅調に推移し続ければ、金融引き締めや緊縮財政への転換がいずれ視野に入ってくるに違いありません。リーマンショック後や大恐慌後の1930年代後半にも見られたことです。今は杞憂とも言えるこうした懸念とは別に、ワクチンへの期待がやや過剰な点も気になります。ワクチンの場合には副反応と呼ぶようですが、それがどの程度問題となるか、また、接種に対する国民の反応はどうか、どれだけ早く行きわたるかなど、まだわからないことはたくさんあります。

元に戻るだけでなく、新しい世の中にシフトする年に

今回のウイルスは極めて手強い相手ではありますが、決して無敵というわけではなく、我々人類も無力ではありません。以前の暮らしに戻ることは、いずれある程度可能となるでしょう。とはいえ、いい意味でコロナ前の世界に完全に戻ることもなさそうに思います。これまで当たり前だと思っていた仕事や生活のスタイルは随分変わりましたし、それを支える新しい技術を生かした企業や産業も様々な分野で興ってきています。

今回、ワクチン開発は当初予想以上の急ピッチで進みましたが、遺伝子や免疫などに関するこれまでの研究とコンピュータによる高速解析の技術が寄与したようです。対コロナ戦で得られた多くの知見は、今後の医療技術の進歩に貢献するに違いないと思っています。そうした前向きな動きが広がる年になることを期待しています。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2020年12月末現在)

基準価額

27,446 円

純資産総額

86 億 24 百万円

期間別騰落率(%)

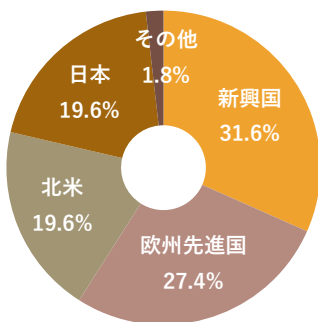
| | |
|------|---------|
| 1 ヶ月 | 2.62% |
| 1 年 | 8.38% |
| 3 年 | 4.06% |
| 5 年 | 32.10% |
| 10 年 | 99.59% |
| 設定来 | 174.46% |

複利年率(%)

8.62%

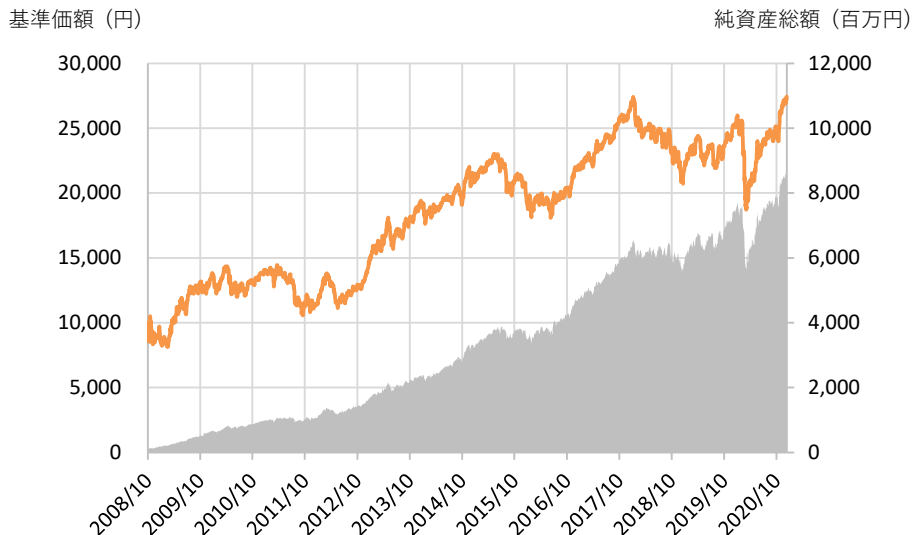
*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2020年11月末現在)

基準価額と純資産総額の推移



組入ファンドの内訳

| ファンド名 | 主な地域 | 組入比率(%) | 月間騰落率(%)※ |
|-----------------|------|---------|-----------|
| さわかみ F | 日本 | 5.7% | 2.0% |
| スパークス F | 日本 | 11.4% | 1.9% |
| キャピタル F | 欧米 | 16.5% | 2.6% |
| ハリス F | 欧米 | 18.9% | 2.8% |
| コムジェスト・ヨーロッパ F | 欧州 | 9.9% | 5.5% |
| コムジェスト・エマージング F | 新興国 | 28.0% | 3.1% |
| 現金等 | - | 9.7% | - |

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2020年12月の市場動向と運用状況

投資環境

2020年12月の株式市場は、11月の急上昇の余韻が残り概ね上昇しました。

特に大きな新規材料はありませんでしたが、新型コロナウイルスのワクチン開発が進展し、いくつかの国で接種が始まるなど、コロナ沈静化への期待が根強かったことや、米国連銀が金融緩和（国債などの資産購入）を長期にわたって継続する姿勢を鮮明にしたことなどが、株価の好調に寄与したものと思われます。

ここで昨年1年間を簡単に振り返りますと、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて3月下旬にかけて世界の多くの市場が歴史的な急落に見舞われましたが、その後は総じて堅調に回復し、年末までその勢いが続きました。もっとも、市場別に見ますと動きはまちまちでもありました。韓国、台湾、インド、米国、中国などでは主要な株価指数が年間で2ケタ上昇しましたが、英国やフランスなどのように、春先の落ち込みを埋めきれないまま前年比マイナスで終わった市場もかなりありました。米国市場でも、ダウ平均株価が1ケタの上昇にとどまった一方で、ナスダック総合指数は4割を超える大幅な値上がりとなるなど、二極分化の激しい1年でした。

為替市場では、米国の金融緩和の長期化予想を背景に12月もドルが若干軟調で、ユーロの堅調が目立ちました。

運用の状況

基準価額は値上がりし、2018年1月につけた高値をおよそ3年ぶりに更新しました。当月の値上がりの原動力となったのは、コムジェストEU FとコムジェストEM Fで、ともに市場の動きを上回る好パフォーマンスとなりました。一方、日本株に投資しているファンドは、小型株が冴えなかったことや円高への警戒から、値上がりはやや小幅なものにとどまりました。

売買は見送りました。組入比率は、主として組み入れているファンドの値上がりによって上昇し、月末時点では前の月を若干上回る90.3%でした。

今後の見通し

金融緩和の継続と財政支出拡大という景気テコ入れ策によって、今後の景気は引き続き回復方向をたどると予想しています。ワクチン接種が進む今年の後半あたりには、景気拡大ピッチがかなり高まる可能性もありそうです。こうしたことから、大勢上昇相場との見通しに変化はありません。

ただ、このところ楽観論が広がっており、投資家の保有する現金の割合は低下しています。大幅ではないにしても調整局面が近づいている可能性が高いと判断しています。

このため、昨年末にかけて値上がり率の大きかったファンドを中心に、今月に入って一部売却を始めています。他方で、ここ数か月の間に遅れ感が強まった市場では買い増しを行っていく考えです。

長期上昇相場が続くと見通しの下、基本的にはこれまで同様の運用スタンスを維持しますが、やや荒れ模様の展開となる可能性にも留意し、当面は機敏な対応も心掛けてまいります。

運用責任者 久保田徹郎

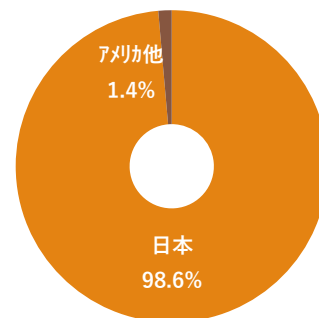
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



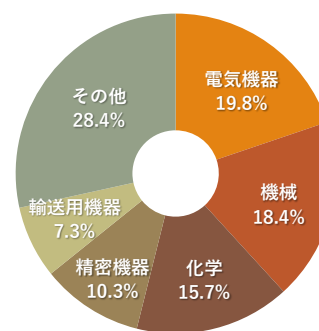
国別構成比



組入銘柄トップ10

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|---------------|--------------|------------|-------------|---------------|
| 1 日本電産 | 7.1% | 日本 | 電気機器 | 精密モーター世界首位 |
| 2 ダイキン工業 | 5.2% | 日本 | 機械 | エアコン世界首位 |
| 3 信越化学工業 | 4.4% | 日本 | 化学 | 塩ビ・シリコンエー世界大手 |
| 4 浜松ホトニクス | 3.8% | 日本 | 電気機器 | 光検出器の世界的企業 |
| 5 テルモ | 3.8% | 日本 | 精密機器 | 医療機器 (カテーテル) |
| 6 TOTO | 3.6% | 日本 | ガラス・土石製品 | 衛生陶器国内首位 |
| 7 花王 | 3.5% | 日本 | 化学 | トイレットペーパー首位 |
| 8 プリヂストン | 2.9% | 日本 | ゴム製品 | タイヤ世界首位 |
| 9 トヨタ自動車 | 2.6% | 日本 | 輸送用機器 | 自動車世界大手 |
| 10 三浦工業 | 2.4% | 日本 | 機械 | 産業用小型ボイラー大手 |
| 上位10銘柄 | 39.2% | 現金等 | 7.2% | |

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2020年12月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



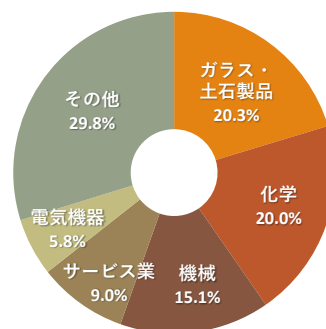
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|-----------------|-------------|----|----------|---------------|
| シップヘルスケアHD | | 日本 | 卸売業 | 医療機器・設備 |
| クミアイ化学工業 | | 日本 | 化学 | 国内農業大手 |
| TOTO | | 日本 | ガラス・土石製品 | 衛生陶器国内首位 |
| MARUWA | | 日本 | ガラス・土石製品 | セラミック基板世界トップ |
| 三浦工業 | | 日本 | 機械 | 産業用小型ボイラー大手 |
| ベイクレント・コンサルティング | | 日本 | サービス業 | 総合コンサルティング会社 |
| 全国保証 | | 日本 | その他金融業 | 独立系の住宅ローン保証会社 |
| 日本エム・ディ・エム | | 日本 | 精密機器 | 人工関節など医療機器・器具 |
| ニチハ | | 日本 | ガラス・土石製品 | 窯業系外装材 |
| エフビコ | | 日本 | 化学 | 食品トレイなど容器の大手 |
| 現金等 | 6.4% | | | |

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2020年11月末現在 >

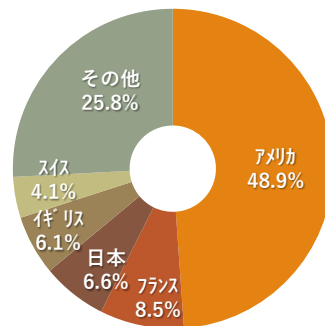
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



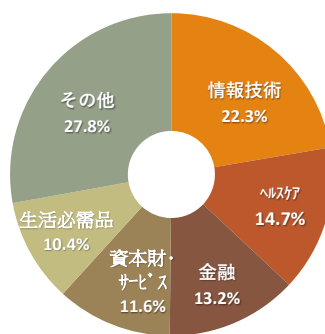
国別構成比



組入銘柄トップ10

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|----------------|-------|-------|----------|-----------------|
| 1 TSMC | 2.7% | 台湾 | 情報技術 | 半導体メーカー |
| 2 ASML | 2.2% | オランダ | 情報技術 | 半導体製造装置メーカー |
| 3 Broadcom | 2.1% | アメリカ | 情報技術 | 無線・通信向け半導体等 |
| 4 AIA | 1.8% | 香港 | 金融 | 生保・金融サービス |
| 5 Visa | 1.7% | アメリカ | 情報技術 | 世界有数のクレジットカード |
| 6 Safran | 1.7% | フランス | 資本財・サービス | 航空・宇宙・防衛用エンジン等 |
| 7 Apple | 1.7% | アメリカ | 情報技術 | デジタル機器・ソフト大手 |
| 8 AstraZeneca | 1.6% | イギリス | ヘルスケア | 薬品会社 |
| 9 Novo Nordisk | 1.5% | デンマーク | ヘルスケア | 糖尿病薬等世界首位 |
| 10 Microsoft | 1.4% | アメリカ | 情報技術 | 世界最大のコンピュータ・ソフト |
| 上位10銘柄 | 18.4% | 現金等 | 5.9% | |

業種別構成比



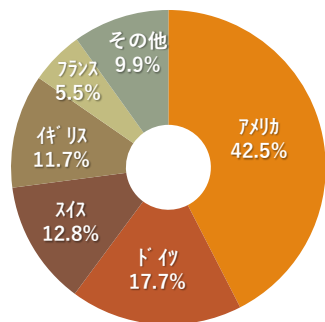
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年11月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリューストックファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



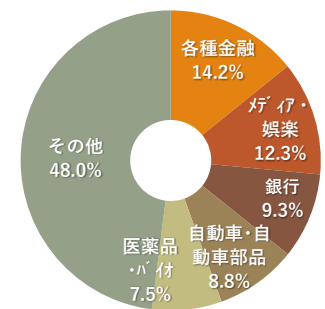
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|----------------------|-------|------|-----------|----------------|
| 1 GLENCORE | 5.7% | イギリス | 素材 | 鉱山開発・商品取引 |
| 2 BNP PARIBAS | 5.4% | フランス | 銀行 | フランス大手銀行 |
| 3 CREDIT SUISSE | 5.4% | スイス | 各種金融 | スイス大手銀行 |
| 4 ALPHABET | 5.2% | アメリカ | IT・娯楽 | グーグルの持株会社 |
| 5 DAIMLER | 4.6% | ドイツ | 自動車・自動車部品 | 自動車世界大手 |
| 6 BAYER | 4.3% | ドイツ | 医薬品・バイ | 大手化学医薬品メーカー |
| 7 CNH INDUSTRIAL | 4.3% | オランダ | 資本財 | 農機・建機メーカー |
| 8 BERKSHIRE HATHAWAY | 3.8% | アメリカ | 各種金融 | 保険事業を主軸とする持株会社 |
| 9 ALLIANZ | 3.8% | ドイツ | 保険 | 総合保険大手 |
| 10 JULIUS BAER | 3.2% | スイス | 各種金融 | プライベートバンク |
| 上位10銘柄 | 45.8% | 現金等 | 2.0% | |

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年11月末現在>

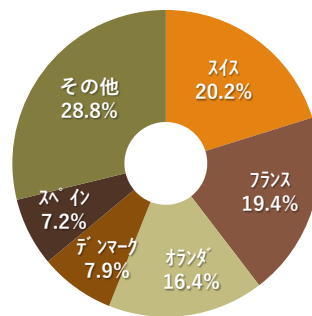
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



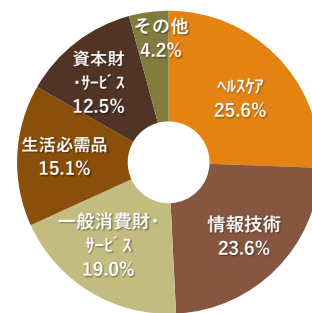
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|----------------------------|--------------|-------|------------|-------------------|
| 1 ASML HD | 5.9% | オランダ | 情報技術 | 半導体製造装置メーカー |
| 2 ROCHE HD | 5.6% | スイス | ヘルスケア | 医薬品・診断薬 |
| 3 NOVO NORDISK | 4.0% | デンマーク | ヘルスケア | 糖尿病薬等世界首位 |
| 4 INDITEX | 3.7% | スペイン | 一般消費財・サービス | アパレルメーカー |
| 5 HEINEKEN | 3.6% | オランダ | 生活必需品 | ビール生産世界大手 |
| 6 ESSILORLUXOTTICA | 3.3% | フランス | 一般消費財・サービス | 光学製品 |
| 7 LVMH | 3.3% | フランス | 一般消費財・サービス | ファッション等高級ブランド世界大手 |
| 8 AMADEUS | 3.2% | スペイン | 情報技術 | 旅行予約システム |
| 9 MTU AERO ENGINES | 2.9% | ドイツ | 資本財・サービス | 航空機用エンジン |
| 10 CHOCOLADEFABRIKEN LINDT | 2.8% | スイス | 生活必需品 | チョコレートなどの食品 |
| 上位10銘柄 | 38.4% | | 現金等 | 4.3% |

業種別構成比(マザーファンド)



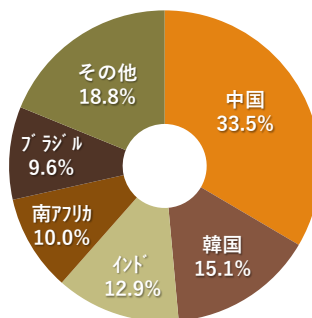
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年12月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



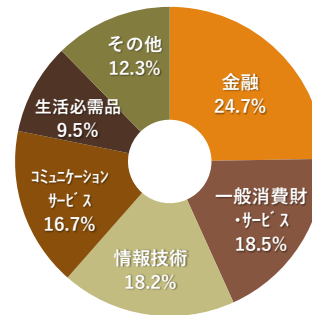
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|----------------------------|--------------|-------|---------------|------------------|
| 1 SAMSUNG ELECTRONICS | 7.0% | 韓国 | 情報技術 | 家電・電子部品大手 |
| 2 PING AN INSURANCE | 6.0% | 中国 | 金融 | 保険大手 |
| 3 TSMC ADR | 6.0% | 台湾 | 情報技術 | 半導体メーカー |
| 4 HOUSING DEVELOP. FINANCE | 5.0% | インド | 金融 | インド最大手の住宅開発金融会社 |
| 5 NASPERS | 4.5% | 南アフリカ | 一般消費財・サービス | ゲイ。中国TENCENTの大株主 |
| 6 NETEASE | 4.3% | 中国 | コミュニケーションサービス | オンラインゲーム |
| 7 NC SOFT | 4.2% | 韓国 | コミュニケーションサービス | オンラインゲーム |
| 8 ALIBABA | 4.0% | 中国 | 一般消費財・サービス | 電子商取引大手 |
| 9 COGNIZANT TECHNOLOGY | 3.7% | アメリカ | 情報技術 | インドに受託拠点を置くIT会社 |
| 10 AIA | 3.5% | 香港 | 金融 | 生保・金融サービス |
| 上位10銘柄 | 48.2% | | 現金等 | 1.5% |

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年12月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

目論見書の改定について

2020年12月26日にユニオンファンドの目論見書を改定いたしました。

【今回の主な改定箇所】

1. 購入申込期間の更新
2. 運用実績情報の更新

※ 新たな交付目論見書、請求目論見書は、弊社ホームページに掲載しています。

※ 今回の目論見書改定において重要な事項に変更はありません。

「目論見書不交付の同意」をされているお客様への新たな交付目論見書の交付は省略させていただきます（交付をご希望の場合は、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）までお申し出ください。）。

取引残高報告書について

今回、「2020年10月～12月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。※残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1年毎のご報告となります。

「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

| 銘柄名 | 数量 | 評価金額合計 [a] | 運用損益[a-b+c] | 円 |
|-------------|------|------------|------------------------|---|
| | 基準価額 | 投資金額 [b] | ※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出 | |
| （ 預 り 区 分 ） | 評価金額 | 受取金額 [c] | | |
| （ 決 算 日 ） | 取得単価 | 個別元本 | | |

| | |
|-------------|--|
| 数量 | ユニオンファンドの残高口数です。 |
| 基準価額 | 作成日（2020年12月30日）現在の基準価額です。 |
| 評価金額 | 作成日現在の残高の「評価金額」です。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000で算出されます。） |
| 取得単価・個別元本 | これまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均です。 一般口座でのお取引の場合は、「個別元本」のみが表示されます。 |
| 評価金額合計 [a] | 評価金額の合計です。 |
| 投資金額 [b] | ご購入された金額の累計です。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。 |
| 受取金額 [c] | ご解約された金額及び受取分配金額の累計です。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出していません。 |
| 運用損益[a-b+c] | 作成日現在の運用損益です。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」 |

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。